

1. 科目名 (単位数)	日本語学Ⅲ (文法・文体) (2単位)	3. 科目番号	EJJP2323						
2. 授業担当教員	山口 雅代								
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	日本語教育で用いられる文法は、国文法とは専門用語が異なる場合がある。本講座では、日本語教育で用いられる文法の専門用語について学ぶと共に、日本語の誤用について、なぜ日本語学習者が間違えるのか、国文法では説明できない、日本語教育の文法について学ぶ。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語文法と国文法の違いについて理解できる。 2. 日本語文法で用いられる専門用語が理解できる。 3. 学習者の文法上の誤用に際し、間違えた理由が説明できる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	毎回、授業時にワークシートを配布するので、授業後に提出する。 レポートは、提出日を授業時に告知するので、期限内に提出する。 レポートテーマ： <ul style="list-style-type: none"> ・日本語文法の動詞の活用と用語 ・格助詞の使い方 								
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 高見沢孟監修『新・はじめての日本語教育 1』アスク、2016。 【参考書】 加藤重弘著『日本語文法入門ハンドブック』研究社、2006。 野田尚史著『はじめての人の日本語文法』くろしお出版、1991。								
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語文法と国文法の違いについて理解できるか。 2. 日本語文法で用いられる専門用語が理解できるか。 3. 学習者の文法上の誤用に際し、なぜ間違えたか説明できるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度・日常の受講態度、レポート、提出課題等を総合して評価する。] <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加・日常の受講態度</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2. 期末試験 (レポート)</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3. 提出課題 (ワークシート、小テスト、)・発表</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table> なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。			1. 授業への積極的参加・日常の受講態度	総合点の30%	2. 期末試験 (レポート)	総合点の30%	3. 提出課題 (ワークシート、小テスト、)・発表	総合点の40%
1. 授業への積極的参加・日常の受講態度	総合点の30%								
2. 期末試験 (レポート)	総合点の30%								
3. 提出課題 (ワークシート、小テスト、)・発表	総合点の40%								
12. 受講生へのメッセージ	日本語文法は、国文法と違った用語が使われているが、なぜ異なっているのか、考えながら受講すること。								
13. オフィスアワー	初回授業時にプリントにて知らせる。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション 第1章 日本語の文法 1. 日本語文法と国文法	事前学習	pp.60～61 を読み、日本語と国語について考える。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第2回	2. 文型教育：表現文型のリストと提出順序 3. 品詞分類	事前学習	pp.62～66 を読んで理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第3回	4. 動詞の活用	事前学習	pp.67～73 を読んで、間違いやすい動詞の活用について考える。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第4回	5. 日本語の文法的特徴	事前学習	pp.74～77 を読んで理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第5回	6. 名詞文「～は～です」 7. 主語と主題	事前学習	pp.78～82 を読んで理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第6回	8. 「こそあど」詞：指示詞	事前学習	pp.83～84 を読んで理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第7回	9. 形容詞 10. 「～たい」と「ほしい」：希望・欲求の表現	事前学習	pp.85～92 を読んで理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第8回	11. 動詞と表現意図 12. 「いる」と「ある」：存在文と所在文	事前学習	pp.93～95 を読んで理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第9回	13. 自動詞と他動詞 14. 「～ている」	事前学習	pp.96～100 を読んで理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第10回	15. 可能表現 16. 使役表現 17. 受身表現	事前学習	pp.101～106 を読んで理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第11回	18. 授受表現	事前学習	pp.107～110 を読んで理解する。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						
第12回	19. 助詞	事前学習	pp.111～115 を読んで、苦手な助詞について考える。						
		事後学習	ワークシートに記入する。						

第13回	20. 「は」と「が」	事前学習	pp.116～124 を読んで、「は」と「が」の使い方について理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第14回	21. 「を」の用法 22. 「に」と「で」の用法	事前学習	pp.125～130 を読んで、「を」「に」「で」の使い方について理解する。
		事後学習	ワークシートにまとめる。
第15回	文型と専門用語の復習	事前学習	課題レポートを作成する。
		事後学習	総復習を行う。